

勇気 ～ 答えのない問いへの挑戦 ～

やる気・根気・元気・連帯



令和5年度4月号 Vol.2

草津市立松原中学校

〒525-0029 草津市下笠町110番地

TEL : 077-568-0246 FAX : 077-568-3479

HP <http://www.matsubara-j.skcd.ed.jp/>

4月も下旬になり、寒い日と暑く汗ばむ日が交互に訪れ、寒暖差が激しく体調の管理が難しい日々が続きます。松原中学校の新任校長として赴任し、はや一月が経とうとしています。松原中学校の生徒一人ひとりを大切にしたい教育活動、そして、地域の方々とのつながりを大切にしながら、学校づくりに努めたいと考えています。

さて、生徒たちは4月からの新しいクラスにもしだいに慣れ、新しい友だちも増えてきている様子が伺えます。そんな中で、ミスをしたり、失敗をしたりすることはあると思います。しかし、これらを成長していくためのチャンスだと考え、どうしたら好転に向くのか、今の良好な状態を継続させるために頑張ることは何か等、常に考えをめぐらせてほしいです。

自分の強みをどんどん伸ばすことに力をそそぎ、本格的に始まっている学習や部活動、生徒会活動等、いろいろな分野で、持てる力を発揮されることを期待しています。

今年度は、次の2点を柱に学校経営を進めます。

- ① 教科面⇒わかる授業づくりに努め、基礎・基本の定着と課題解決能力を育てます。
- ② 生活面⇒「スクールESD まつばら」の取組をさらに発展させ、コミュニケーション力や自己有用感・自己肯定感を育てます。

「スクールESD まつばら」の取組を通して コミュニケーション力・自己有用感・自己肯定感を養う

松原中学校では、令和4年度より「スクールESD くさつ推進事業」のモデル校として、地域の方々の協力を得ながら取組を進めてきたところです。この事業は、体験的な学びを通して、様々な地域課題の解決に向け、生徒たちが主体的にかかわることにより、地域社会の一員としての意識と行動力を身につけることを目的としています。

【具体的な行動と目的】

1. 地域の課題解決のために、生徒自らが課題に気づき、調べ、まとめる。そして、地域の人々に情報を発信し、ともに課題解決に向けて行動します。
2. 地域の人々とかかわり、人の役に立つ経験を通して、ふるさとへの愛着や誇りをより一層深めるとともに、コミュニケーション力や自己有用感・自己肯定感を養います。

【昨年度の取組内容】

「松中ベジクサPRプロジェクト」と題し、校区の草津ブランドの農産物「ベジクサ」に着目し、どうしたら草津の農産物の知名度をあげることができるのかということ課題として、その魅力を探究し、より多くの人に伝え、校区に根ざした農業を未来につなげる活動をしてきました。(活動内容の詳細は、次のとおりです。)

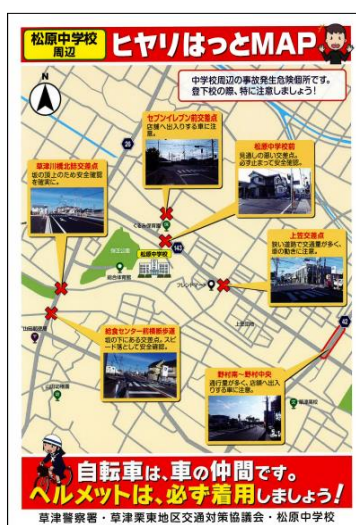
- (1) 校区の草津ブランドの農産物「ベジкса」の魅力を探究し、農業を未来につなげるために自分たちができることを考え、地域課題のテーマを「松中ベジксаPRプロジェクト」として、生徒会を中心に学年へ発信。
- (2) 地域の農業に携わっておられる方々を講師として学校にお招きし、「愛彩菜（ワサビ菜）」、「近江彩菜」、「琵琶湖元気アスパラ」など草津ブランドの野菜栽培について様々な角度から講演会を開催。
- (3) 生徒会を中心とした、地元農家と収穫体験活動。
- (4) 学校で栽培する大根を「まつばら大根」と名付け、生徒自ら栽培することを目標に、地域の方や市農林水産課の方のご指導のもと、菜園の整地、土づくり、うねづくり、種まきなどの体験活動。
- (5) 「ベジкса」の魅力をもつPRするためのポスター作成。⇒作成したポスターをまちづくりセンター、JA草津、草津あおばな館等で展示。
- (6) 技術科の授業で、ベジксаのPRをテーマにしてプログラミング学習。
- (7) 地域の方を招待してポスターセッションを実施。
- (8) 12/22に種まきを行い、生徒自らが栽培しただいこんを4/13に収穫。
- (9) 収穫した「松原だいこん」を使った料理を、昨年度E S Dでお世話になった地元農家の方々等を招いての試食会。
- (10) ポップアートを作成し、草津あおばな館の直売所コーナーにて商品とともに展示。
- (11) 家庭科でのベジксаを使った料理のレシピ作り。

松原だいこん試食会の様子です。

4/26（木）、生徒会主催の試食会として、「松原だいこん」を使った煮物とお味噌汁を、この取組でお世話になった地域関係者の皆さんにふるまいました。市教育委員会からは藤田教育長も来校され、総勢10名の方々と生徒会の皆さんが交流しました。放課後の1時間足らずの短い時間ではありましたが、校区への愛着や誇りをより一層深める機会となりました。



松原中学校周辺ヒヤリはっとMAP贈呈



4/26（木）、草津警察署交通課職員が来校され、昨年度、生徒会と連携して取り組んだ交通立番、学校挨拶運動の成果として、「ヒヤリはっとMAP」の贈呈式があり、MAP およびポスターを生徒会長が代表で受け取りました。家を一步出ると、見通しの悪い交差点や、車の通りが多い道路など、事故が発生する危険なところはたくさんあります。あの角から人が飛び出してくるかもしれない、車が飛び出してくるかもしれないという「かもしれない運転」を意識することが大切です。自転車を運転するときのルール・マナーをしっかりと守り、自分と命と他人と命を守ってください。

